

富浦地区学校再編に関わる保護者説明会 会議録

日時 令和5年12月19日(火)
午後7時から午後8時19分まで
会場 富浦中学校体育館

【当日関係者】

検討委員	16人(2人欠席)
オブザーバー	3人
参加者	82人
報道	0人
事務局	12人

1 開会

進行 皆さんこんばんは。定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は、大変お忙しい中、また、お疲れのところ御出席をいただき、誠に有難うございます。本日の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課長の黒川と申します。よろしく願いいたします。

説明会に入る前に、お手元に配布いたしました資料の確認をお願いいたします。

まず、説明会「次第」。

次に、「令和5年度 富浦地区学校再編検討委員会 委員名簿」で、A4で両面印刷のもの。

次に、本日の「席次表」。

次に、資料1「南房総市立小学校・中学校 児童生徒数 推移見込み(市内全地区)」で、裏面が「中学校別 部活動の実施状況」となっているA3で両面印刷のもの。

次に、資料2「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み(富浦地区・富山地区)」で、A3で両面印刷のもの。

次に、資料3「富浦地区の中学校再編(案)」で、A4で片面印刷のもの。

配付資料は以上の6種類となります。御確認いただきまして、不足等がございましたら、手を挙げていただけますでしょうか。

《挙手あり》

進行 すいません、すぐお持ちします。

《資料2の印刷面について確認》

進行 失礼しました。資料２は片面でした。申し訳ございません。
資料２は片面です。申し訳ございません。

進行 資料の不足等がありますか。よろしいですか。
それでは、ただ今から、富浦地区学校再編に関する保護者説明会を開会いたします。
進行は次第に沿って行います。

２ 委員長挨拶

進行 次第の２、委員長挨拶。穂積委員長、よろしく申し上げます。

委員長 皆様、こんばんは。

本日は、年の瀬の慌ただしい中、皆さんには一日の仕事を終え大変お疲れの中、また、お寒い中お集まりいただきまして、誠に有難うございました。

また、検討委員の皆様、市議会議員の皆様、お忙しい中御出席いただき有難うございます。

ただ今、紹介をいただきました、私、委員長の穂積利夫と申します。どうぞよろしく願います。

私ども、富浦地区学校再編検討委員会は、富浦中学校の再編に関し、富浦地区の保護者の皆様、そして地域の住民の皆様と情報を共にしながら、意見を交換し、委員会内で協議・検討を重ね、富浦地区の学校再編に関する方針をまとめ、その結果を市へ報告する、このような役割を担っております。

本日は、子どもたちを取り巻く不安要素を取り除き、良質な学校環境を保持していくために、更に向上させるためには、これからどういう選択をすれば良いか、子どもたちの将来に最善の中で、皆様と一緒に考えるために、本日のこの会議を計画したところでございます。

後ほど、事務局から市全体の中学校の生徒数の推移見込み、また、その中で富浦中学校が置かれている状況、そして今は仮の話として、富山中学校と統合した場合に、その説明が、この後されて参ります。

説明があった後、皆様から貴重な御意見を頂戴する段取りになっております。富浦地区の子どもたちのために、忌憚のない御意見をお聞かせいただきたい、このようにお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願います。御苦勞様でございます。

進行 有難うございました。

3 教育長挨拶

進行 続いて、次第の3、教育長挨拶。三幣教育長から御挨拶申し上げます。

教育長 こんにちは。保護者の皆様には御出席いただき、大変有難うございます。私ども今、穂積委員長からお話がありましたように、富浦中学校の生徒数、大分少なくなってきました。そういう状況の中で、富浦中学校と富山中学校との統合・再編ということで、それぞれ再編検討委員会を立ち上げまして、協議をお願いしています。今日は、その協議をしていく中で、保護者の皆様方から御質問、あるいは御意見をいただく中で、その協議を進めて参りたいと思ひまして、今日のような会議を設定いたしました。この後私どものほうから、今置かれている状況について御説明申し上げますので、忌憚のないところで御質問、あるいは御意見いただければ大変有り難いと思っております。

寒い中ですが、暖房のほう切らないで、このまま継続しますので、大変厳しい状況の中ですが、御意見・御質問いただければ大変有り難いと思っております。どうか、よろしくお願いいたします。

4 委員紹介

進行 続きまして、次第の4、委員等紹介でございます。

お配りしてございます、「令和5年度 富浦地区学校再編検討委員会 委員名簿」と、「席次表」を御用意ください。本来であれば委員お一人ずつ、お名前を御紹介するところではありますが、速やかに説明に移り、皆様から御意見を頂戴する時間を長くとりたいと思ひますので、本日は大変申し訳ございませんが、委員名簿と席次表を御確認いただき、御紹介に替えさせていただきます。御理解のほど、よろしくお願いいたします。

5 説明

進行 続きまして、次第の5、説明に移ります。ここからは、穂積委員長に進行をお願いいたします。

委員長 それでは、次第の5、説明に入ります。

(1) 富浦地区の中学校の現状について

(2) 富浦地区の中学校再編について

と、ありますが、関連していると思われますので、事務局から一括して説明をお願いいたします。

その後、次第の6、質疑・意見交換で、説明に対しての質疑・御意見、その他お聞きになりたいことがありましたら、一括してお聞きしたいと、このように考えており

ます。

それでは事務局、説明をお願いいたします。

事務局 それでは次第の5、説明の(1)「富浦地区の中学校の現状について」を説明いたします。

資料1の表面「南房総市立小学校・中学校 児童生徒数 推移見込み(市内全地区)」を御覧ください。この表は、令和5年5月1日現在で、学校基本調査を基にして、市内全地区の児童・生徒数の推移見込みを作成したのになります。

表の富浦地区の欄を御覧ください。左端の令和5年度、中学計を見ますと、生徒数は104人が、右端の令和11年度には68人で36人減少する見込みとなっております。

同様に富山地区は令和5年度が100人、令和11年度には90人で10人減少。三芳地区は令和5年度88人が、令和11年度には96人で8人増加。令和6年度から統合する白浜・千倉地区は令和5年度が235人、令和11年度には189人で46人減少。平成26年度に統合した丸山・和田地区は、令和5年度157人が、令和11年度には145人で12人減少となっております。

この表は、あくまで見込み値ですので、今後、転入・転出があった場合は変わることもあります。市全体で出生数は減少傾向にあり、今後もこの状況は続くことが予想されます。

裏面「中学校別 部活動の実施状況」を御覧ください。令和5年度、市内中学校別部活動の状況となります。

各校とも、少人数で切磋琢磨しながら活動していることがわかります。このような状況から、団体競技では単独チームでの参加が困難な部活動もあり、個人戦のみの参加や合同チームで大会に出場するなどしており、先ほど説明した推移見込みのとおり、今後もこの状況は続くことが予想され、部活によっては、部員数がそろわず休部せざるを得ない部活も出てくる可能性があります。

続きまして、資料2の表面「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み(富浦地区・富山地区)」を御覧ください。この表は先ほど御説明させていただいた資料に、学級数・教員数を追加し、現状の理解を深めていただくために作成したのになります。

富浦中学校の2段目、通常学級数(弾力)の欄を御覧ください。国の基準によりまして40人学級を標準としておりますが、現在、千葉県の実力的運用により、1年生を35人学級、2年生・3年生を38人学級として運用しております。

現在、各学年1クラス編成であり、2クラス編成が可能な時期もありますが、おおよそ1クラス編成が続くことが見込まれております。

次に、富山中学校の2段目、通常学級数(弾力)の欄を御覧ください。同様に2ク

ラス編成が可能な時期もありますが、おおよそ1クラス編成が続くことが見込まれております。

次に、統合した場合の2段目、通常学級数（弾力）の欄を御覧ください。令和15年度から各学年1クラス編成となってしまう見込みではありますが、それまでは2クラス編成、3クラス編成が可能となります。

次に教員の配置数ですが、富浦中学校の1番下の段、正規の教員数の欄を御覧ください。令和5年度は11名となっており、そのほかに会計年度任用職員として、美術の教科担任講師が1名おります。

次に、富山中学校ですが、正規の教員数は10名となっており、そのほかに臨時的任用講師が1名、会計年度任用職員として、体育・技術・美術の教科担任講師が3名おります。

次に、統合した場合ですが、学級数が増えることにより、教員の配置数も増加することになります。

教員数が少なくなると、経験、教科などの面でバランスのとれた配置が行いにくくなり、増加した場合、教員同士で相談・研究・協力・切磋琢磨などを行うことができるようになります。

続きまして、説明の（2）「富浦地区の中学校再編について」を説明いたします。資料3の「富浦地区の中学校再編（案）」を御覧ください。

1番の市の再編（案）ですが、市では、富浦中学校と富山中学校の統合を再編（案）として考えております。富浦中学校と富山中学校を統合することについては、令和5年11月10日に富浦地区学校再編検討委員会を立上げ、これから、統合するか、しないかについて、協議・検討をしていただきます。

次に、2番の富山中学校との統合の理由ですが、アからカまでの6項目を記載しています。

ア 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考えられるため。

イ 富浦中学校は、現在、各学年1クラスだが、統合することにより、2クラス又は3クラスの学級編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となるため。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになるため。

エ 生徒数の減少により部活動の実施が厳しくなっているが、統合することによって充実した部活動が実施できるため。

オ 富浦地区及び富山地区の遠方から、30分程度でスクールバス通学が可能であ

るため。これはどちらかの校舎を使用した場合であり、あくまで参考となります。
カ 三芳地区を含めた内房地区全体として検討をすると、かなりの広範囲となること及び三芳地区の生徒数は当面の間は現状を維持することから、三芳地区は除いて検討を行うため。

以上の理由から、市では、富浦中学校と富山中学校の統合を考えております。

最後に、3番の学校の再編時期、学校の位置、学校の名称についてですが、条例・規則等の改正を伴う重要事項となります。この3項目については、富浦地区・富山地区、それぞれの学校再編検討委員会で富浦中学校と富山中学校を統合する方向でまとめ、富浦地区・富山地区学校再編検討委員会で合同会議を開催し、その中で協議・検討していただくことと考えております。

以上で説明を終わります。

6 質疑・意見交換

委員長 事務局の説明が終わりました。それではこれより、次第の6、質疑・意見交換に移りたいと思います。

ただ今の説明に対して、御質問・御意見、あるいはその他、聞きたいことがある方は、挙手をお願いいたします。事務局がマイクをお持ちいたしますので、自席にてお待ちいただきたいと思います。マイクが届きましたら、お名前を述べてから御発言をお願いしたいと思います。

どんなことでも結構です。御質問・御意見等がありましたら、お願いしたいと思います。どうぞ。

《しばらくの間》

委員長 ただいまの事務局の説明に対して、この点はどうなんだ、あるいは、少し教えてもらいたいとか、そういうことでもあったら、遠慮なさらずにお願いしたいと思います。

《挙手あり》

委員長 はい、少々お待ちください。

保護者 スクールバスとか送迎のほうは、バスの確保とかはできるんでしょうか。台数の確保とかは。

委員長 事務局、どうぞ。

教育長 スクールバスの台数ということかと思いますが、私ども必要な台数については確保して参りましたし、もし、富浦中学校と富山中学校が統合ということになりましたら、その必要なバスの台数については確保して参ります。

委員長 ただいまの教育長の回答でよろしいでしょうか。

保護者 ちなみに何台くらいというか、方面別があると思うんですけど。

教育長 通学支援部会という専門部会を設けます。それで、保護者の皆さんの代表の方に入っていて、どの方面でどんなコースを回るとか、極力、子どもたちがバスに乗っている時間を短くするような方向で、先ほど担当のほうで30分と申し上げましたけど、30分の中で回れるようなコースを、あるいはどこにバス停を設けるとか、そういったところまで検討した結果として、台数が決まってくるので、今の時点で何台ということにはちょっと、私も申し上げられませんので、御理解いただければと思います。

いずれにしても、皆さん方の代表が話し合った中で、必要なコースに応じたバスの台数というのは、確保して参ります。

委員長 ただいまの教育長のお答えでよろしいでしょうか。

いずれにしても、皆さんの御心配される、通学、そういった面での不安というものが、今、教育長がお話ししましたように、安心・安全をまず確保するんだ、こういうところから出発していくことになると思いますので。

保護者 有難うございます。

委員長 よろしいですね。はい。他にどうぞ。今日、初めての会合ですから、この点はどうなんだ、そういう質問等があれば何でも構いません、御発言をお願いしたいと思います。

はい、どうぞ。ちょっとお待ちください。

保護者 ちょっと今の関連する質問なんですが、以前、同じような再編計画のこういった委員会があった時に、確か富山と富浦を統合するのは距離の関係で難しいんじゃないか、っていう議事録が確かあったと思うんですけど、それはもう今回、統合ありきの方で。平成20何年かくらいの、学校再編計画の委員会だか協議会みたいのがあって、そこで、委員会のほうから、富山と富浦が統合した際に、距離ですよ、移動距離の関係で難しいんじゃないか、っていうような議事録を見たことがあったんですね。今

回、30分で可能と記載されてるんですが、その辺は前の考え方と今回の考え方は変わったって認識でよろしいのでしょうか。

委員長 事務局、どうぞ。

教育長 当初の計画、ということでしょうか。私ども、平成22年くらいに計画を、議員の方々、あるいは市民の方々含めて色々な方々に集まっていただいて、市内全体の再編計画を立てました。それによりますと、小学校については旧町村およそ2分の1にするというようなプランでした。中学校については後期の方で検討を進めていくということで、具体的なことは中学校についてはありませんでした。

その後、平成20何年か、2～3年後になってくると思いますけど、その計画を修正いたしまして、旧町村の2分の1ってことだったんですけど、2分の1以下ということで、具体的には千倉地区が小学校4校あったわけですけど、それを1校にするとか、あるいは旧町村を超えた再編も、必要があれば進めていくということで、和田地区と丸山地区の中学校を最初に統合いたしました。その後小学校の方も4校ですか、それぞれ2校ずつあったかと思いますが、それを1校にするというような形で進んできております。

今はですね、児童生徒数の状況を見ながら適切に進めていくということで、基本的にはなっております。結果的には、バスに乗っている時間が30分程度、あるいは距離で言いますと15km程度がひとつの目安ということで、進めてきております。今回の富浦・富山につきましても、その流れの中、あるいはその方針と言いますか、その中で、今回、皆さん方に御意見いただくような状況になってきております。

委員長 ただいまの回答でよろしいでしょうか。

保護者 まあ、はい。

委員長 よろしいですか。この統合に関してまだまだ、この先の問題で、どのようにしたら、子どもさんあるいは親御さんたちが安心できるか、十分検討することになると思います。

他にいかがでしょうか。どんなことでも結構です。はい、少々お待ちください。

保護者 スクールバスの今のお話で、ちょっと気になっていることがありまして、例えば、統合するとしたらどちらに、というのはこの先またお話し合いで決まっていくこととは思いますが、道路事情は、どの道を通っていくのかなっていうのが気になっているのと、富浦中学校に関しては、スクールバスを運用しておりませんが、富浦小学校に

についてはスクールバスを運用しております。警報があった場合スクールバスが止まります。そうすると保護者が学校まで送っていくという形になります。今は小学校でするので近いというのがあって、保護者の皆さんの負担も少ないとは思いますが、中学校になった場合、かなり距離もありますし、朝は皆さんお忙しいということで、その辺のことも、今、どうこうというお答えではないにしても、その検討の中で必ず考えていただきたいことだな、とは思っております。

それからもう一点。資料2の推移見込を見ますと、合併した場合ですね、私ちょっと、誰からってわけではないのですが、令和9年くらいに合併を目指しているというのをちょっと聞いたんですが、これが正確な情報かは分かりませんが、資料見て17年度、14年度ですね、令和14年度になると結局、全部1クラスにほぼなるんですよ。そうなった場合、教師数も元の今の10人程度に戻ってしまうのですが、その辺の未来的な見込というのは、今、例えば令和9年に合併して、先生の数が増えます、生徒数も増えます、クラスも増えます、は良いのですが、その後たった6年後くらいには、また元に戻るという見込ですが、この辺についてはどのようにお考えなのか、お聞きしたいです。

委員長 ただいまの2点について、お願いいたします。

教育長 スクールバスの件で、間違っていたら大変申し訳ないんですけど、スクールバスが止まった場合に、保護者が送らなくてはならないようなことが、っていうことを懸念されているのかなと思いますけど、今私ども、スクールバスが動かない場合には、余程の、警報とか、そういったものが出た場合についてはスクールバスは止めますけど、それ以外については運行しております。で、保護者の方々に送っていただくことは想定していませんし、実際そのような状況は無いと思っております。ただあの、お子さんの具合が悪い時とか、そういう時については迎えに来たり、あるいは中学校のほうで送って行ったりとか、そういう場合はあると思いますけど、基本的にはスクールバス以外の登下校というものは無いものと、私ども進めております。

保護者 すいません、小学校今スクールバス止まっていますよ。

教育長 止まっているというのは。

保護者 警報が、例えば大雨警報、暴風警報などが出た場合は、今、富浦小学校は2台スクールバスが動いているのですが、1台は町内を回るオレンジ色のバスで、そちらの方は町内を回るバスということで、そのまま警報が出ても運行しておりますが、本当に生徒だけを運ぶバス1台に関しては、警報が出た場合は止まっていますよね。止まって

ます。で、そういう場合は例えば、朝は送って行く、帰りも止まっていれば保護者が迎えに行くという形以外は、スクールバスで通うくらいの距離ですので、子どもたちに歩いて帰って来いっていうのは無理なので、今現在は保護者が迎えに行っていますので、こちらに関しては、間違いは無いと思います。

教育長 私ども、機械的と言われればその通りなんですけど、警報が出た場合については、安全確保のために、スクールバスを走らせておりません。帰る場合についてですね、警報が出た場合については、スクールバスは動かさないで、引き渡しの3原則があるかと思いますが、自宅の安全が確保された場合、あるいは学校と家の経路が確保された場合、もうひとつが子どもたちを自宅に引き取って、その後大人が子どもと一緒にいられる状況、こういう3つの条件が揃った場合については、学校のほうに迎えに来てくださいと。引き渡すとはちょっと乱暴な言い方ですけど、子どもはお渡しいたします。で、そういう3つの条件が満たされない場合については、満たされるまで学校、あるいは子ども園でお預かりするというようなことを原則としてやっておりますので、結果的には皆さん方にお迎えに来ていただくような負担をかけるわけですけど、警報とかそういうものが出た場合については、そのような基本的な市営でやっておりますので、どうか御理解いただければと思います。

もう一つは、今から17年度ですか、ですから12年後、また同じ教員数になるのではないかということですけど、ただこれは、一緒になった場合こうなる訳ですけど、一緒にならない場合についてはもっと少ない状況、生徒数も少ないですし、当然生徒数・学級数によって教員が配置されますので、より厳しい状況になってくるのかな、というふうに思っております。17年度になりまして、この状況について、あるいは、現実こういうような数字になってきたときに、この時点で何ができるかっていうのは、またこの時点で判断していかなくてはいけないと思っております。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 はい。

委員長 今の状態では、学校は安心安全をまず確保して、それから行動をとってもらう、これを大前提としておるようですから。また、父兄の皆さん方にも御負担をかける場合が時と場合によっては、出ることがあるかも知れませんが、それは御理解いただきたいこのように思っております。できるだけ、安心安全というのをまず確保する、これが第一条件です。

他に、どんなことでも結構です。はい、少々お待ちください。

保護者 中学校に入って部活をやった場合に、多分それぞれで終わる時間がバラバラの時もあると思うんですけど、その場合、子どもたちの帰りはどうなるのでしょうか。迎えに行くことになるのか、それとも時間帯でバスが運行されるのか、ちょっと気になりました。

委員長 回答をお願いいたします。

教育長 富浦中学校はスクールバスを今、使っていないわけですよね。ですから徒歩、あるいは日東バスで帰る子どもたちもいることになっているのかなと思いますけど、こういう場合ですと恐らく、それぞれの部が終わる時間が違うかなと思います。ただ、スクールバスを運行している中学校につきましては、スクールバスの時間に合わせて各部が終わることになってますので、どの部であってもスクールバスの時間に合わせて、スクールバスで帰るとい、このようになっています。

なお、土曜日・日曜日に部活がある場合については、部活バスということで、その学校の土曜日・日曜日の部活の活動状況に合わせて、その時間帯で、学校に来る時と帰る時のバスを設定しまして、バスを運行しています。

保護者 有難うございます。

委員長 部活動についてはできるだけ、学校の方でも子どもさんの要望に応えるような運行計画を立てるといことで今現在は考えているようです。

他に、どんなことでも結構です。はい、少々お待ちください。

保護者 合併についてなんですけれども、一応予定としてはいつぐらいを予定しているのかと、他地区について検討委員会が出来てると思うんですけども、丸山・和田地区、白浜・千倉地区について、再編検討委員会が出来てから大体どれくらい、何年ぐらいで合併の話がまとまったかっていうのを教えてください。

委員長 回答をお願いいたします。

教育長 和田・丸山地区の中学校については早かったです。これは、保護者の皆さん方がやっぱり少しでも早い方が良いということで、校舎をちょっと、2教室増築したわけですけど、それが間に合わないくらいというか、それに合わせてということで、2年くらいで。結論は1年程度で出たかと思います。ただいろんな、物理的な状況を整えるのに時間かかって、それでも2年、3年はかからなかったと思います。

小学校の方につきましては、その後協議をしてきましたから、実質的には、校舎を

何処にするかってことで色々、ちょうど3. 1 1の後でしたので、津波のことが心配だよということで、高さですね、位置等そういうもので色々議論がありまして、やはり議論は3年くらいかかったかなと思います。

今、同じように検討委員会が立ち上がっています、白浜地区と千倉地区につきましては、コロナが間に入りましたので、会議を一切持てない時期がずっと続きましたけど、実質的には、会議自体は2年くらいで結論は出て、後は校名とか校章とか、そういうものを準備していく期間が必要になってきますので、コロナ入れてトータル4年くらいかかったかな、と思います。

で、この富浦中と富山中については私ども、いつ、何年度ということは考えておりません。今、申し上げましたように、色々議論をして皆さん方から意見をいただく中で合意していくってことになってきますと、決して急ぐことはできませんので、丁寧に進めて参りたいと思ってますんで、その方向性が出るのにやはり最低2年はかかるのかなと。そしてその後、いろんなものを準備していくのに更にまた1年程度かかる。ですから早くてもやはり3年はかかるのかな、ってことは想定しております。

ただこれは議論の進み方次第ですので、今申し上げたのは、私どもが最低このぐらいはかかるだろうとの想定でありまして、具体的には、何年ということとはちょっと申し上げられないということで、御理解いただければと思います。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 はい。

委員長 また、いずれにしても、今日が最初の会議でございます。皆さん方のいろんな御意見、あるいは不安事項、こういったものをひとつずつ解消しながら、どうしたら子どもさん、あるいは父兄の皆さん方に安心して通学してもらえるのか、これが一番大事なことだと思いますので。

教育長から回答がありましたように、最低でも2年3年はまだまだかかりますよということで、その間、また皆さん方と色々な面で協議が進められていくと、このように考えております。よろしいですか。

委員長 はい、少々お待ちください。

保護者 これからお話しされる内容かも知れないんですけど、今、富山地区の方が学園になっていて、小学校から中学校まで同じくくりになってるかと思うんですけど、合併は中学校のみということになると、その学園というのは無くなって、富山中学、富浦中学って、中学単位になるってということですか。その辺もこれから決めることでしょ

うか。

委員長 じゃあ、回答をお願いします。

教育長 同じ敷地内に子ども園から小中学校があるのは、富山と嶺南になります。これは、富山学園・嶺南学園と称していますが、この富浦中学校と富浦小学校と富浦子ども園も、富浦学園ということで、県の施設が富浦学園あって紛らわしいんですけど、保育所・幼稚園・小学校・中学校、これひとつまとまりで学園としております。で、この中で先生方が色々話合ったり、基本的な教育の在り方とか、そういうものについては毎年協議して、同じ方向で進めています。ですから、千倉小中の方は千倉学園ということで学園地を置いておりますし、これは一番最初に申し上げましたように、同じ敷地内にある・無いの違いはありますが、基本的な教育の在り方とか、子どもへの対応の仕方とか、そういうものについては基本的に学園の中で、子ども園・小中学校の職員話し合っって取り組んでおりますので、もし、富浦中学校と富山中学校が統合した場合については、新たな学園というようなことで、中学校は一つで、小学校は二つですか、あるいは子ども園が二つ、そういうような形の学園ということになる可能性が強いと思っております。

委員長 ただいまの、名称の捉え方についてはよろしいでしょうか。

保護者 はい、わかりました。有難うございます。

委員長 よろしいですか。せっかくの機会ですから、どんなことでも結構です。皆さん方が御質問、あるいはこの点はどうなんだ、そういうものがあれば、事務局の方からお答えしますので、遠慮なさらずに御発言をお願いしたいと思います。

はい、少々お待ちください。

保護者 子どもたちの人数が少なくなると、学校の先生方の人数の配置が少なくなるって仰ってましたけど、逆に今この時代、子どもたちはどんどん少なくなってると思うんですが、先生方の配置の人数というのは変わらないんですか。子どもたちがどんどん減っていくわけじゃないですか。で、私たちの方は合併しなきゃいけない。だけど先生方の配置人数というのは、今までの人数と変わらないっていう状況ですか。その辺が人数の変更とか、そういうのはしてくれないんですか。

委員長 教員数の関係についてお願いします。

教育長 今、お話があったように、私ども教員数を増やしたいと思っております。ただ、国の法律で決まっております、中学校で言いますと基本的には学級数プラス1. いくつとか、かけるわけですね。ですから、学校全体の学級数が多いと、1. いくつのかける数が多くなっていくわけですね。ですから12学級の中学校ですと、プラスされる人数が多くなる。で、富浦中のように3学級ですと、かける数が少ないわけですね、先ほど申し上げたところには増置という教員があったと思っておりますけど、5人ということで。と言いますと、学級数プラス5人しか配置されていないという。これは国の法律で、これは国の方も変えるつもりはないと思っておりますので。私どもいろんなところで、一人当たりの教員の持ち時間数が非常に多くなってきているので、それを少なくするためには各学校に配置する教員を増やして欲しいってことはずっと要望してるわけなんですけど、この法律は頑として変えませんし、今考えられるのは、教員の希望者が少なくなってますので、その決まった数の教員さえも配置されない状況が、何年か先、あるいは現実に出てきているのが、大変残念ですけど、そういう状況にあります。要望は、私どもも同じ想いで持っております。

委員長 教員の配置については、ただいま教育長の方から回答されましたように、よろしいですか。

少々お待ちください。今、マイクをお持ちします。

保護者 もし、3年後に統合しますってなった場合の、その時の中学3年生ってというのは、富山中の3年生と富浦中の3年生が一緒になる、急に一緒になるってということですか。なんて言うのかな。今の時点で、じゃあ中学2年生の子が、来年統合になりますってなった時に、3年生に両方なると思うんですけど、その時に、急に、3年生同士で同じ学校に通うってということになるんですか。

委員長 事務局、お願いいたします。

教育長 今、一つの例としてお話されたと思っておりますけど、今年度話がまとまって、今の2年生が来年から2つの中学校一緒になりますよ、っていった場合については、基本的には、皆さん方がそういう結論でしたら、1つの学校で中学3年生、今の2年生ですね、それと1年生は今度は2年生になる、それで、小学校6年生が今度新しい1年生になって、3学年が新しい中学校でスタートすることになります。で、御心配されていることは他にあるんじゃないかと思っておりますけど。

保護者 はい。で、中学校3年生になると今度、高校受験が入ってくると思うので、その、高校受験プラス友達作りってということも入ってくると思うので、何か統合される前

に、顔合わせではないんですけど、何かワンクッションあったらいいかなと思いました。

教育長 今、極端な例で今年度、もう間もなく3か月ですよね、3か月後に新しい学校になるってことだと準備期間全くないわけですけど、白浜中学校と千倉中学校は、統合という方向性が出てからは、何回か一緒に学習をしたりとか、お互いの学校に行ったり来たりとか、そういうことをやって、仲間関係っていうんですかね、初めて顔を合わせて一緒に学校になるってことではなくて、そういう面でも準備期間を置いて、いろんな行事とかそういうものも、一緒にやるようにしています。ですから、子どもたちの負担にならないようには、学校がそれぞれ具体的に配慮してやっていきます。やることになります。

保護者 有難うございます。

委員長 よろしいですか。

いずれにしても、子どもさんが急に知らない子どもたちと一緒に机を並べるということではなくて、それまでの間、色々な機会を通じながら、交流を深めていきながら、じゃあ、一緒になりましょうよと。仮になった場合ですね、お互いに違和感のない移行の仕方がされているということでございます。

教育長 中学校だけではなくて、今、白浜小学校と千倉小学校も、今6年生で来年今度は1年生になるわけですので、小学校の段階で一緒にそういう交流はやっております。

委員長 よろしいでしょうか。

はい、少々お待ちください。

保護者 前提として、統合するとしたら、富浦が富山学園の方に行くってことなんですか。

委員長 回答をお願いします。

教育長 これはですね、冒頭説明しましたけど、富浦地区は富浦地区で中学校の統合をする方向ということで結論を出し、結論ってことは、もう統合するという結論ではなくて、統合する方向で検討していきますよ、って結論を出していただいたら、富山地区でも同じように協議していただいています。富山地区のほうも、こういう状況だから、生徒数の状況見たら統合してこうという方向になりましたら、今日、富浦地区だけの

再編検討委員会の皆さんですけど、今度は両地区の、合同の会議を開いていきます。その中で、申し上げましたように、学校の名前とか、学校の位置とか、そういったものについては、私どもはその折に提案していきまして、検討委員の皆さん方に協議していただきます。で、もちろん、ある程度の方向性が出た場合については、今日のような説明会を開きまして、保護者の皆さん、あるいは地域の皆さん方から御意見いただいて、それを踏まえて最終的な結論を出す、そういうような段取りとなっております。ですから今、何処の校舎とか、そういうことは考えておりません。

保護者 有難うございました。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

いずれにしても、この問題については、皆さん方と十分協議を重ねたうえで、どの道を選ぶか、っていうのがこの後色々出てくると思いますので、今日はいずれにしても、こういう案が、ひとつ皆さんの前に提供されたので、この問題についていろんな面で皆さん、御検討をいただきたいと、このように思っております。

他に、どなたでも結構です。はい、少々お待ちください。

保護者 度々すみません。部活動の関係ですとか教育の環境で、もう個人的に言うと、もうこういう状況ですから、まあ一緒に学んだり活動していったほうが子どもたちのために良いなど、思っております。ただ、同じ富山地区のその、検討委員会の議事録を拝見させてもらったら、富山地区は、富浦が来ればウェルカムだと、富山から富浦に来るのはちょっと難しい、というような議事録を拝見させてもらったんですけども、仮に両方で統合していきましようってなって、合同の協議会になった際に、いやいや富浦が富山に来いよ、逆に富山が富浦に来いよって、そういった堂々巡りになった場合は、どのように結論を出していくのかなって。その辺の確認と言いますか。まだ校舎もどっちを使うか決まっていって話なんですけども、お互い一緒に統合していきましよう、でも、仮に校舎の関係が出た時に、確かに富山学園の方が新しいです。富山の検討委員会の方の議事録では、富浦が来れば全然ウェルカムのような意見が出てたんですね。で、富山から富浦来るのはちょっと難しいというような議事録が載ってたんですけど、逆に富浦の方が富山さん来てくださいよという、お互いの主張がこう、出た場合はどのようにまとめていくか、その辺の考え方を教えてもらいたいなと思いました。

委員長 回答をお願いします。

教育長 新しい学校の位置を何処にするか、ということになってくるかと思いますが、今

までの例で、ここの地区も八束小学校と富浦小学校が統合して、新しい富浦小学校になったわけですが、どっちが来いとか、吸収だとか、そういうようなものは、心の中にはあったかもわかりませんが、議論の中ではそういう言葉は出てこなかったというふうに記憶しています。子どもたちにとってどういう環境にするのが一番良いのかとか、そういう観点で話し合っていてありますし、いろんな条件がありますんで、その中でやはり、収まる場所に皆さん収めてきた、というのが、私の感想と言いますか。いろんな思いが出てくるのは承知してはいますが、子どもたちの…

保護者 そうですね、まあ、富山の検討委員会の議事録見た時に、富浦の方から来てくれれば全然問題ないような議事録が載ってたもんですから、逆の場合だったらどうなるのかなっていう。意地悪な質問で申し訳ない。

教育長 私どもの基本的な考え方は、富浦地区も富山地区も、同じように子どもの数が減っていくんだと。そうすると、どういう環境を子どもたちのために整えたら良いのかっていう、そのようなことで話し合っていたらいいかと思っておりますんで、これは時間がかかるかもわかりませんが、落ち着くところへ落ち着いていくっていう、そんな風に考えております。

委員長 ただいまの回答でよろしいですか。

保護者 はい。まあ、向こうの委員会さん、委員さんがちょっとそういうような発言があったもんですから、ちょっと気になったもんですから、ちょっと質問させていただきました。

委員長 よろしいですか。

まあ、いずれにいたしましても、子どもさんたちの将来のことを考えて、何が一番大事なのかな、ここが一番肝心なところだと思いますので、この後も色々と皆さんの御意見等いただくことがあろうかと思っております。よろしくお願ひしたいと思います。

その他に、いかがでしょうか。はい、少々お待ちください。

保護者 中学校が統合するということなんですけど、そうすると富山小と富浦小とあるわけなんですけど、中学校は1校で小学校は2校っていうときに、学校行事とかの調整っていうのは、学校行事が重ならないような配慮はしていただけると有り難いなと思って、ちょっと発言させていただきました。

委員長 回答をお願いします。

教育長 それは子ども園も関わってきますので、全部で5つですか、子ども園が2つ、小学校が2つ、中学校1つということで、5つの子どもたちの所属するところが出てきますので、これは両方の、5つですけど、同じ学園ということになるとと思いますので、それは連携をとってやっていくこととなります。そうしていきます。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 はい、有難うございました。

委員長 はい、少々お待ちください。

保護者 富山中学校の方なんですけども、柔道部が今現在無い状態なんですけど、武道場が無いというのを聞いたのですが、もし富山中学校に統合となった場合に、武道場っていう、柔道部自体がなくなってしまうということでしょうか。

委員長 ただいまの部活の問題で、お願いします。

教育長 富山中学校にも、体育館ありまして、ステージがありまして、その裏が武道場ってことになっていまして、剣道を中心に今使ってますけど、畳がありますので、その畳を敷くと、授業の中でも柔道の授業やっておりますので、施設としては問題ないと思っております。どんな部を新しい中学校が残していく、あるいは作っていくことは、具体的に統合という結論が出ました後に、学校中心に話し合って、その時の生徒の所属の状況ですよね、どんな部活に何人くらい入ってるとか、そういうことを元にしながらかめていくことになると思います。

保護者 有難うございます。

委員長 ただいまの回答でよろしいですか。

保護者 大丈夫です。

委員長 今は中学生でもいろんな競技に参加したり、そういうような時代になっておりますので、部活に、子どもさんが、これをやりたいよとか、いろんな声があるかと思いますが、それらについても、この場を通じながら確保していければなど、このように思っております。

他に御意見・御質問ございませんか。どんなことでも結構です。今まで皆さん方が質問されましたけども、その辺についてもうちょっと聞きたいよとか、そういうものがあればお受けしたいと思います。

はい、少々お待ちください。

保護者 ひとつ、スクールバスと学校の件で。先ほどもあったんですが、今、富浦小の件で言うと、警報が出た時にスクールバスは運休、でも学校では普通に授業をするので、親が送って行って登校しているんですけど、今後も中学校も、警報が出てスクールバスが出ないくらい道路が危ないから、バスは出ないけど、学校では普通に授業してるから、授業出したい親は自分で送って行きなさいね、っていう感じで変わらない感じですかね。

私は時々、警報が出るくらい大雨だと学校を休ませちゃうんですね。けど学校は普通に授業をしていて、警報くらいで休ませちゃってちょっと恥ずかしいかなと思いつつも、でもスクールバスを出せないくらい、出せないっていうか、安全を確保して出せない感じだから、休んでも良いのかなっていつも悩んでしまうんですけど、今後もし、どちらかになった場合、特に道路状況と違って雨が強いと、富浦と富山の間に止まるじゃないですか。で、スクールバスは出ませんよ、でも、警報が出ても学校は休校にはなりませんよ、っていう感じは変わらないのか。やっぱり授業が進んじゃうと親としては、送って行く方法がないけど、授業が進んでるってなると、学校は普通にやってるってなると、連れて行かないかやいけないのかなと思ってしまって、どの道通って送って行こうかなって考えてしまうと思うので。それは今の小学校の現状でもそうなんですけど、そういうところは、これからの話す検討の中に加えていただけたら。要はスクールバスが出せないくらいの警報だったら思い切って休校にしちゃうとか、もしくは授業も普通にやらないとか、そういうのも検討に入れていただけたら、危ないかなと思って休ませるときに安心して言ったら変ですけど、授業が進んでないと思うと安心なので、検討していただければと思います。以上です。

《教育長が校長に警報発令時の学校の対応の確認》

委員長 少々お待ちください。警報等の場合にどうするか、回答いたします。

教育長 今、お話がありましたので、もう一回整理していきたいと思ってます。今、長谷川校長に聞いたら、警報が出ても、親御さんが送ってきて話がありましたので。

私ども今、基本的に考えてますが、警報が出た場合についてはスクールバスは動かさないということで、当然登校できない。ただし、子ども園も小学校も中学校も、いろんなお仕事を持っている親御さんがいらっしゃいますので、どうしても仕事に

行かなくちゃいけないっていう、そういう場合については学校で預かるということで、子ども園もそうですけど、どの場合についても、お仕事に行かなくちゃいけない方は、どうぞ学校、子ども園にお子さんを預けてくださいという姿勢は、今、やっているとありますが、今御心配あることについてはまた、ちょっと検討させていただきたいと思います。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 はい。

委員長 とにかく、安心安全を確保するというのが大前提でございます。

保護者 はい、そうですね。お願いします。

委員長 他に、御質問、御意見ございますか。

はい、少々お待ちください。どうぞ。

保護者 大体3年くらいで、って先ほど、決まるまでの期間が3年くらいで、嶺南学園と、千倉と白浜も決まってきましたってことだったんですけど、正直な話、そこを目指してる感じですか。例えば、中学の話じゃないですか。なので、関係がある親御さんもいれば、例えば中学2年生で、ちょっともう卒業しちゃってるんじゃないかな、っていう親御さんも多分居ると思うので、大体、目標値みたいなところは、本音のところ考えてらっしゃるんでしょうか。

それと、先ほどの方の質問に付け加えさせていただきたいんですけども、実際、道路が駄目ですとか、今結構、天候が大雨になりやすい時に、警報って相当出てるんですよ。多分、皆さんが利用しているスグールを見ていただければ、警報の時は学校では通常で授業しますと。で、安全を確認したうえで御家庭の判断で、ってなるんですけども、もし富山に行くとなると、例えば南無谷のトンネルのところって、大雨の時って大体危ないじゃないですか。それプラス中学生となると、1日の欠席が受験に係わるんですよ。病欠とかインフルとかじゃなければ、評価点に入ってくると思うんです。例えば警報があつて、御家庭でそれが判断できるのが6時半にしかスグールって来ないじゃないですか。前日判断って多分少ないので。そうすると、例えば夜勤に入ってる親御さんですとか、早朝勤務でもう6時から仕事してるという方もいらっしゃると思いますので、そういった時に例えば欠席扱いにしないとか、そういった点の検討もしていただきたいって思うんですよ。子どものためと仰るのであれば、やはり評価とかを気にすれば、もちろん受験だったり将来も、親御さんは気にすると

思いますので。無理をしてでもじゃないですけど、やっぱり連れていくということ、もちろんその、行くことっていうのが重要なわけで、帰りに関してはもちろん預かっていただけてるのが分かるんですけども、そういった点も御検討いただければと思います。それと、大体目安で考えてるのかな、っていうことだけ聞けたらなと思います。

委員長 回答お願いいたします。

教育長 出欠席の件ですけど、今、欠席云々で高校のほうは判断していませんので、欠席が多いから、そのことをもってこの子は駄目ですということは無い状況になってます。かなり欠席が多くても、高校には、要するにそういうものを評価の対象には、もう今はしていないと思いますので。今、お話があったような、事情のある欠席については、これは登校扱いとか、そういうものについては私ども検討していきたいと思えます。学校のほうと話し合っ、今のような自然災害とか、そういうようなものに伴うものについての扱いについては、もう一回確認していきたいと思ってます。それと、これも先ほどお答えしたように、警報が出ている中で、敢えて子どもたちに登校させるということも、これもなかなか説明し難い、しにくいところが私どもにもありますので、今お話しいただいた、あるいは先ほどお話しいただいたことを踏まえて、警報が出た場合、いろんな警報がありますんで、それら踏まえて、それぞれ学校の置かれた立場も、地理的な状況も違いますので、また検討していきたいと思ってます。

あと、見通しですけど、あくまでも、やはり3年程度はかかるというような見込は私としては持ってますけど、それで、3年で会議を進めていってもらいたいとか、そういうことは全く考えておりませんで、再編検討委員会の委員の皆様の話し合いの進み具合で、結論、どのくらいかかるかというのは決まってくると思ってます。私ども決して、ゆっくりってことも考えませんが、そんなに急がせるというようなことは今までしてきておりませんので、この富浦中と富山中についても同じ姿勢でやっていきたいと思ってます。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 それと、話し合いを重ねてっていうのは、だいたいこのような説明会は、今後またお便りとかで、町の方には今度1月の20何日に、って回覧版で回ってると思うんですけども、今後そういった形で何回程度、そういう意見交換というのを考えてらっしゃいますか。

委員長 お願いします。

教育長 今回は保護者の皆さんです。来月、今お話がありましたように、地域の方々、保護者でない方も含めて説明会を実施します。今、皆さん方が色々御意見、御質問を私どももいただいているわけですが、今日、再編検討委員の皆さん方がお見えですので、今日の皆さん方の意見、質問、そういったものを踏まえて、今後どうしていくかについては、再編検討委員会の皆さん方でまた決めていくと思います。もう1回、2回やった方が良さだろうってことが出ればそうなりますし、いやもう、これで大体質問、御意見は出たから、もうこれで、この段階では良さだろうとか、そういう判断は再編検討委員の皆さんにさせていただきますので、それで御理解いただければと思います。

委員長 ただいまの回答でよろしゅうございますか。

保護者 はい、有難うございます。

委員長 他に、いかがでしょうか。

いずれにしても、今日は第1回目で、こういうような状況です、という現状を皆さん方に御説明申し上げました。この後また、地区の住民の皆さん、あるいは内部検討をしながら、今後どのように進めていくか、まだまだ時間がかかるものと、このように思っております。

他に御質問はございませんか。はい、少々お待ちください。

保護者 学校の再編時期のところの、学校の位置ですけれども、30分程度でスクールバスを利用して行ける場所、って言うのは、今の既存の建物の場所を指して検討されてることなんでしょうか。それとも、だいたいこの辺に建てれば30分程度で回れるっていう、検討されてる地区とかあるんでしょうか。

委員長 お願いします。

教育長 先ほど申し上げましたように、それぞれの地区で統合の方向で進んで行こうっていうような合意が得られました後に、合同会議を開きますけど、それに合わせて、私ども、今お話があったようなことについては、提案できるような形で整理していきたいと思っております。

委員長 よろしいですか。

保護者 はい、有難うございます。

委員長 御質問等ございますか。よろしいですか。

《しばらくの間》

委員長 大分皆さん方から、貴重な御意見はいただきましたけども、これまで出ていなかった問題等について、特にございませんか。

《しばらくの間》

委員長 特に無いようですが、質疑・意見交換この辺で終えたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

《しばらくの間》

委員長 いずれにいたしましても、今日が最初の会合でございますので、この後また、地区の会合、あるいは皆さん方色々とお集まりになった時に、御意見等そういったものが出てくると思いますが、またその時にお話を頂ければと思っております。

それでは、皆さん方から貴重な御意見いただいて、大分時間も経ちましたので、質疑・御意見が無いようでございますので、これで終了したいと思っております。

後日、何かお気づきになった点、あるいは、もっと知りたい点等がありましたら、来年、令和6年1月24日（水）ですけども、この場所でまた開催されます地元説明会、こちらに出席をいただいて、改めて御発言いただくか、また直接、事務局へお問い合わせいただければと、このように思っております。

皆様方から頂戴した御意見等は、今後の富浦地区学校再編検討委員会の協議・検討の際に参考とさせていただきますと思っております。

それでは、次第の6、質疑・意見交換を終わります。長時間に渡りまして貴重な御意見、また、皆さん方の不安を少しでも取り除く、こういった御意見をいただきました。この後の検討委員会の場の中でも、これらを大いに参考としながら、子どもさん方の将来に向けて、一番良い方法は何か、これらを見出していきたいと、このように考えております。

今日は長時間に渡りまして、御審議有難うございました。お疲れ様でした。

それでは、この後事務局にマイクをお返しします。

7 閉会

進行 穂積委員長、進行ありがとうございました。

本日、聞き漏らした点や後日、お気づきになった点などがございましたら、事務局の学校再編整備課、電話番号がですね、申し上げます。46の2962。もう一度申し上げます。46の2962まで直接お問い合わせいただければと思います。

また、今後の富浦地区学校再編検討委員会の協議・検討の内容でございますが、市ホームページ等で逐次公開いたしますので、御確認をお願いいたします。

それでは以上をもちまして、富浦地区学校再編に関する保護者説明会を閉会いたします。

御協力有難うございました。